電話情報とディスプレイ設定

- 電話機の情報およびディスプレイ設定 （1 ページ）
- 電話機の名前を設定する （1 ページ）
- スタートアップ画面のカスタマイズ （2 ページ）
- 電話ディスプレイの壁紙をカスタマイズする （4 ページ）
- 電話ウェブページからスクリーンセーバーを設定する （6 ページ）
- 電話機のウェブインターフェイスからバックライト タイマーを調整します （9 ページ）
- 製品構成バージョンのカスタマイズ （10 ページ）
- アクティブコールへのフォーカスを維持 （10 ページ）
- インライン通話ラベルまたはセッションを有効にする（8800 のみ） （11 ページ）
- ヘッドセットインベントリのレポート （12 ページ）
- 設定ファイルを使用してヘッドセットをアップグレードする（Cisco ヘッドセット 320 のみ） （13 ページ）

電話機の情報およびディスプレイ設定

電話機の Web ユーザ インターフェイスを使って、電話機の名前、背景の画像、ロゴ、スクリーン セーバーなどの設定をカスタマイズできます。

電話機の名前を設定する

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 電話機 ウェブインターフェイスへのアクセスを参照してください。

手順

ステップ 1 **[音声（Voice）]** > **[電話（Phone）]** を選択します。

ステップ 2 **[全般（General）]** の下で、**[ステーション表示名（Station Display Name）]** または **[ステーション名（Station Name）]** フィールドに電話機の名前を入力します。

（注）
電話機で両方の名前を設定する場合、電話機には **[ステーション表示名（Station Display Name）]** のみ表示されます。

XMPP を有効にし、**[最優先の XMPP ユーザー ID の表示（Display XMPP User ID With Top Priority）]** を **[はい（Yes）]** に設定すると、XMPP ユーザー ID が設定されている名前を上書きします。

電話画面に表示される優先順位のシーケンスは次のとおりです。

[XMPPユーザーID（XMPP user ID）]>[ステーション表示名（Station Display Name）]>[ステーション名（Station Name）]。

この名前は電話機の画面に表示されます。 次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg .xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Station_Display_Name ua="na">Recetion Desk</Station_Display_Name
```

```
<Station_Name ua="na">Recetion Desk</Station_Name>
```

ステップ 3 [全般（General）]の下で、[ステーション表示名（Station Display Name）]フィールドに電話機の名前を入力します。

この名前は電話機の画面に表示されます。 次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg .xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Station_Display_Name ua="na">Recetion Desk</Station_Display_Name>
```

ステップ 4 [すべての変更の送信（Submit All Changes）]をクリックします。

スタートアップ画面のカスタマイズ

Cisco IP 電話の起動時に表示するテキストまたはイメージのロゴを作成できます。 ロゴは、シスコのロゴが表示された後の短いブート シーケンス中に表示されます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 電話機 ウェブインターフェイスへのアクセスを参照してください。

手順

ステップ 1 **音声** > **ユーザ**をクリックします。

ステップ 2 [画面（Screen）]セクションで、[ブート表示（Boot Display）] フィールドからオプションを選択します。

- [デフォルト（Default）]：スタートアップ画面に空白の画面または既存の画面を表示します。
- [ダウンロード画像（Download Picture）]：スタートアップ画面に画像を表示します。 [画像ダウンロードURL（Picture Download URL）]フィールドにパスを入力します。
- [ロゴ（Logo）]：スタートアップ画面にロゴを表示します。**ロゴURL**フィールドにパスを入力します。
- [テキスト（Text）]：スタートアップ画面にテキストを表示します。 [テキスト表示（Display）]フィールドにテキストを入力します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg .xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Boot_Display ua="na">Logo</Boot_Display>
```

有効値は、デフォルト |画像のダウンロード |Logo |テキストです。 デフォルトのオプションはデフォルトです。

ステップ 3 画像またはロゴを表示するには、**画像のダウンロードURL** または **ロゴのURL** フィールドにパスを入力します。

次に例を示します。

```
http://10.64.84.147/pictures/image04.png
```

間違ったURLを入力して画像をダウンロードすると、電話機は新しい画像へのアップグレードに失敗し、既存の画像を表示します。 電話機にダウンロードされた画像がない場合は、グレーの画面が表示されます。

ロゴは、.jpg または .png ファイルである必要があります。 電話機には固定表示領域があります。 そのため、元のロゴ サイズが表示領域に収まらない場合は、画面に合わせて縮小する必要があります。 Cisco IP 電話 7811、7821、7841、7861 では、ロゴ表示領域は電話機の画面の中央です。 Cisco IP 電話 7811 の表示領域のサイズは 48 × 48 です。 Cisco IP 電話 7821、7841、7861 の表示エリアのサイズは 64 x 64 です。

ロゴは、.jpg または .png ファイルである必要があります。 電話機には固定表示領域があります。 そのため、元のロゴ サイズが表示領域に収まらない場合は、画面に合わせて縮小する必要があります。 Cisco IP 電話 8800 シリーズでは、ロゴ表示領域は電話機の画面の中央です。 Cisco IP 電話 8800 シリーズの表示領域のサイズは 128 X 128 です。

ロゴは、.jpg または .png ファイルである必要があります。 電話機には固定表示領域があります。 そのため、元のロゴ サイズが表示領域に収まらない場合は、画面に合わせて縮小する必要があります。 ロゴの表示領域は、電話画面の中央部分です。 表示エリアサイズは次のとおりです。

- 6821 と 6861: 48x48 ピクセル
- 6841と6851:64 x64 ピクセル
- 6871: 74x40 ピクセル

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg .xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Picture_Download_URL
ua="na">http://10.64.84.147/pictures/bootimage1.jpg</Picture_Download_URL>

<Logo_URL ua="na">http://10.64.84.147/pictures/logo_image.jpg</Logo_URL>
```

ステップ 4 起動時にテキストを表示するには、以下の要件に従って**テキスト表示**フィールドに表示するテキストを入力します。

- 各行に 32 文字未満の最大 2 行のテキストを入力します。
- 2 行の間に改行文字（\n）とエスケープ コード（%0a）を挿入します。

  たとえば、

  ```
  Super\n%0aTelecom
  ```

  次の内容が表示されます。

  ```
   Super
  Telecom
  ```

- 書式設定用のスペースを追加するには、 + 記号を使用します。 テキストの前後に複数の+文字を追加して、テキストを中央に配置することができます。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg .xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Text_Display ua="na">Super\n%0aTelecom</Text_Display>
```

ステップ 5 **Submit All Changes** をクリックします。

電話機は再起動し、画像ファイルを取得して、次回の起動時に画像、ロゴ、またはテキストを表示します。

電話ディスプレイの壁紙をカスタマイズする

電話機の画面に背景としてカスタムロゴまたは画像を表示するように電話機を設定できます。

追加できる壁紙のファイルサイズは 625k バイトまでです。

手順

ステップ 1 電話機のウェブページで、**音声** > **ユーザ** を選択する。

ユーザは、電話機のウェブインターフェイスで壁紙を変更することもできます。

ステップ 2 **画面** セクションで、**電話機の背景** フィールドのいずれかのオプションを選択します。

- **[デフォルト**：システムのデフォルトの背景を維持します。

- **画像ダウンロード**—TFTP、FTP、またはHTTPSサーバからダウンロードした画像が表示されます。 このオプションを選択する場合は、**画像ダウンロードURL**フィールドに画像のURLを入力します。

  Cisco IP電話6871マルチプラットフォームフォンのみが、カスタム画像を背景として表示することをサポートしています。

- **Logo**—TFTP、FTP、またはHTTPSサーバからダウンロードしたロゴを表示します。 このオプションを選択する場合は、**ロゴのURL**フィールドにロゴの画像のURLを入力します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg .xml)でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Phone_Background ua="na">Logo</Phone_Background>
```

ステップ3 カスタム壁紙をTFTP、HTTP、またはHTTPSサーバにアップロードします。

画像は.jpgファイルまたは.pngファイルです。 推奨サイズは800 X 480ピクセルです。 画像が推奨サイズではない場合でもユーザはアップロードできますが、画面に合わせてサイズが変更されます。

画像は.jpgファイルまたは.pngファイルです。 Cisco IP電話6871の推奨サイズは480x272ピクセルです。画像が推奨サイズではない場合でもユーザーはアップロードできますが、画面に合わせてサイズが変更されます。

ステップ4 **Picture Download URL**フィールドに、壁紙画像がアップロードされているパスを入力します。

URLには、TFTP、HTTP、またはHTTPSサーバー名（またはIPアドレス）、ディレクトリ、およびファイル名を含める必要があります。URLの255文字を超えないようにします。

例：

```
http://10.64.84.147/pictures/image04.jpg
```

新しい壁紙をダウンロードするために正しくないURLを入力すると、電話は新しい壁紙にアップグレードすることができず、既存のダウンロードされた壁紙を表示します。 電話機にダウンロード済みの壁紙がない場合は、グレーの画面が表示されます。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg .xml)でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Picture_Download_URL
ua="na">http://10.64.84.147/pictures/image04.jpg</Picture_Download_URL>
```

ステップ5 TFTP、HTTP、またはHTTPSサーバにロゴ画像をアップロードします。

ロゴは、.jpgまたは.pngファイルである必要があります。 電話機には固定表示領域があります。 そのため、元のロゴ サイズが表示領域に収まらない場合は、画面に合わせて縮小する必要があります。 Cisco IP電話7811、7821、7841、7861では、ロゴ表示領域は電話機の画面の中央です。 Cisco IP電話7811の表示領域のサイズは48 × 48です。 Cisco IP電話7821、7841、7861の表示エリアのサイズは64 x 64です。

ロゴは、.jpgまたは.pngファイルである必要があります。 電話機には固定表示領域があります。 そのため、元のロゴ サイズが表示領域に収まらない場合は、画面に合わせて縮小する必

要があります。 Cisco IP 電話 8800 シリーズでは、ロゴ表示領域は電話機の画面の中央です。 Cisco IP 電話 8800 シリーズの表示領域のサイズは 128 X 128 です。

ロゴは、.jpg または .png ファイルである必要があります。 電話機には固定表示領域があります。 そのため、元のロゴ サイズが表示領域に収まらない場合は、画面に合わせて縮小する必要があります。 ロゴの表示領域は、電話画面の中央部分です。 表示エリアサイズは次のとおりです。

- 6821 と 6861: 48x48 ピクセル
- 6841と6851:64 x64 ピクセル
- 6871: 74x40 ピクセル

ステップ 6 **ロゴの URL**フィールドに、ロゴの画像がアップロードされている場所のパスを入力します。

URL には、TFTP、HTTP、または HTTPS サーバー名（または IP アドレス）、ディレクトリ、およびファイル名を含める必要があります。URL の 255 文字を超えないようにします。

例：

```
http://10.64.84.147/pictures/logo_image.jpg
```

間違ったURLを入力して新しいロゴをダウンロードすると、電話機は新しいロゴへのアップグレードに失敗し、既存のダウンロードしたロゴが表示されます。 電話機にダウンロードされた画像がない場合は、グレーの画面が表示されます。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg .xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Logo_URL ua="na">http://10.64.84.147/pictures/logo_image.jpg</Logo_URL>
```

ステップ 7 [すべての変更の送信（Submit All Changes）]をクリックします。

背景画像のURLを変更すると、電話機が再起動します。

電話ウェブページからスクリーンセーバーを設定する

電話機のスクリーン セーバーを設定できます。 電話機が指定された期間アイドル状態が続くと、スクリーンセーバーモードに入ります。

ボタンを押すと、電話機が通常モードに戻ります。

XML（cfg.xml）コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。 各パラメータを設定するには、スクリーンセーバーのパラメータ （7 ページ）の文字列のシンタックスを参照してください。

始める前に

電話管理のウェブインターフェイスにアクセスします。 電話機 ウェブインターフェイスへのアクセスを参照してください。

手順

ステップ 1 電話機のウェブページで、**[音声（Voice）]** > **[ユーザ（User）]** を選択する。

ユーザは **[ユーザ ログイン（User Login）]** > **[音声（Voice）]** > **[ユーザ（User）]** を選択して電話機にスクリーン セーバーを追加できます。

ステップ 2 **Screen** セクションで、スクリーンセーバーのパラメータ （7 ページ）の説明に従ってフィールドを設定します。

ステップ 3 [すべての変更の送信（Submit All Changes）]をクリックします。

スクリーンセーバーのパラメータ

次の表で、電話 Web インターフェイスの **[音声（Voice）]**> **[ユーザー（User）]**タブの下にある **[画面（Screen）]** セクションのスクリーンセーバーのパラメータの機能と使用方法を定義します。パラメータを設定する XML コードで電話機設定ファイル（cfg.xml）に追加された文字列の構文も定義されています。

表 *1*:スクリーンセーバーのパラメータ

パラメータ	説明
Screen Server Enable	電話機でスクリーン セーバーを有効にするには、**Yes** を選択します。リーンセーバーモードに入ります。 次のいずれかを実行します。 • XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で `<Screen_Saver_Enable ua="rw">Yes</Screen_Saver_Enable>` • 電話機のウェブインターフェイスで、スクリーンセーバーを有効ます。 有効値: はい（Yes）| いいえ（No） デフォルト：[いいえ（No）]

パラメータ	説明
Screen saver type	スクリーン セーバーの種類。 次のオプションを選択できます： • **Clock**：単色背景にデジタル時計を表示します。 • **Download Picture**：電話機の Webページから取得された画像を表示し スを入力します。 • **Logo**：電話画面にロゴを表示します。 **Logo URL** フィールドでロゴ 次のいずれかを実行します。 • XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文 `<Screen_Saver_Type ua="rw">Clock</Screen_Saver_Type>` • 電話機のウェブインターフェイスで、スクリーンセーバーを選択し 有効値：クロック|画像のダウンロード|ロゴ デフォルト: クロック
Screen Saver Wait	スクリーンセーバーが表示されるまでのアイドル時間の長さです。 スクリーン セーバーが開始されるまでのアイドル時間の秒数を入力しま 次のいずれかを実行します。 • XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文 `<Screen_Saver_Wait ua="rw">300</Screen_Saver_Wait>` • 電話機のウェブインターフェイスで、時間を秒単位で設定します。 有効値：30 ~ 65000 の整数 デフォルト：300
Picture Download URL	電話画面の背景に表示する（.png）ファイルを示す URL です。 画像は、 るか、起動時に**[電話機の背景（Phone Background）]**、**[スクリーンセー スプレイの起動（Boot Display）]** フィールドの設定に応じて表示されま 間違ったURLを入力して新しい画像をダウンロードすると、電話機は新し た画像を表示します。 電話機にダウンロードされた画像がない場合は、 次のいずれかを実行します。 • XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文 `<Picture_Download_URL ua="rw">http://10.74.3.52/images/screensa` • 電話機のウェブインターフェイスで、写真が保存されている URL を 有効値: 255 文字を超えない有効な URL デフォルト：空

パラメータ	説明
Logo URL	ロゴ画像が保存されている場所の URL またはパスを入力します。 ロ **レイ**、または**電話機の背景**フィールドの設定に応じて、画面の背景、 示されます。 次のいずれかを実行します。 • XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で `<Logo_URL ua="rw">http://10.74.3.52/images/Logo1.png</Logo_U` • 電話機のウェブインターフェイスで、ロゴの画像が保存されてい 有効値: 255 文字を超えない有効な URL デフォルト：空

電話機のウェブインターフェイスからバックライトタイマーを調整します

あらかじめ設定した時間に各電話機のバックライトを無効にすることで、省エネできます。バックライトがオフの状態でも、電話機のデスクトップは表示されたままです。

手順

ステップ 1 **[音声（Voice）]** > **[ユーザ（User）]** を選択します。

ステップ 2 **Screen** セクションで、**Back Light Timer**パラメータの期間を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg .xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Back_Light_Timer ua="rw">30s</Back_Light_Timer>
```

有効値は、Off | 10s | 20s | 30s |常にオンです。 デフォルト値は 30 秒です。

- 6821、6841、6851、および 6861 の場合: 有効値は Off | 10s | 20s | 30s |常にオンです。 デフォルト値は 30 秒です。
- 6871: 有効値は 1m | 5m | 30m |常にオンです。 デフォルト値は 5 分です。

有効値は 1m | 5m | 30m |常にオンです。 デフォルト値は 5 分です。

ステップ 3 **Display Brightness** フィールドで、目的の明るさを指定する 4 ～ 15 の整数を入力します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg .xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Display_Brightness ua="rw">15</Display_Brightness>
```

許容値は、4 ～ 15 の整数です。値を大きくすると、画面の表示が明るくなります。 デフォルト値は 15 です。

ステップ 4 [すべての変更の送信（Submit All Changes）]をクリックします。

製品構成バージョンのカスタマイズ

電話機の設定ファイル (cfg.xml) で、製品の設定バージョンをカスタマイズできます。 変更を有効にした後、ユーザーは電話機に製品情報の設定バージョンを表示できます。

手順

ステップ 1 電話設定ファイル (cfg.xml) をテキストまたはXMLエディターで編集します。

ステップ 2 cfg.xml ファイル内の要素 `<Device_Config_Version>` 値を追加します。

次に例を示します。

```
<Device_Config_Version ua="na">2021-01-05-v1</Device_Config_Version>
```

デフォルト：空

有効値の範囲: 0 ～ 64 文字

タグがcfg.xmlファイルに存在しないか、パラメータ値が空の場合、**設定バージョン**のメニュー項目は電話画面の **製品情報**に表示されません。

（注）
割り当てられた文字の長さが電話画面の幅を超えると、超過した文字は切り捨てられ、電話画面で省略記号（...）として表されます。

（注）
Cisco IP 電話 6871 では、割り当てられた文字の長さが電話画面の幅を超えると、超過した文字は切り捨てられ、電話画面で省略記号（...）として表されます。

ステップ 3 変更内容をcfg.xmlファイルに保存します。

アクティブコールへのフォーカスを維持

ユーザが着信コールを受信した場合に、アクティブコールにフォーカスが合っている状態が続く状態を確保するために電話機を設定できます。

デフォルトでは、電話画面のフォーカスがアクティブコールから着信コールに自動的に移動します。 ただし、電話機を設定すると、ユーザが着信コールを持っている場合でも、アクティブコールに常にフォーカスが合っている状態が維持されます。

フォーカスは、次の状況では着信コールに移動します。

- ユーザーがアクティブコールを保留にした後、1つ以上の着信コールを受信すると、フォーカスは自動的に最初の着信コールに移動します。
- ユーザーがアクティブコール中に1つ以上の着信コールを受信し、アクティブコールを保留にした場合、フォーカスは自動的に最初の着信コールに移動します。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 電話機 ウェブインターフェイスへのアクセスを参照してください。

手順

ステップ 1 **[音声（Voice）]** > **[ユーザー（User）]** を選択します。

ステップ 2 **[補足サービス]** セクションで、**[アクティブコールにフォーカスを維持]** を **[はい]** に設定します。

このパラメータは、設定ファイルでも設定できます。

```
<Keep_Focus_On_Active_Call ua="na">Yes</Keep_Focus_On_Active_Call>
```

有効値: はい（Yes）といいえ（No）

デフォルト：[いいえ（No）]

ステップ 3 [すべての変更の送信（Submit All Changes）]をクリックします。

インライン通話ラベルまたはセッションを有効にする（8800 のみ）

インライン通話ラベル機能を有効にすると、アクティブな通話ウィンドウが自動的に最小化され、発信者または着信者の名前、番号、通話時間、通話状態、および安全な通話、通話録音などの特別なアイコンなど、通話セッション情報が回線ラベル自体に表示されます。 これにより、現在の通話情報と共に、他のさまざまな回線、BLF/SD 機能の状況を確認することができます。

始める前に

- 電話管理のウェブページにアクセスします。 電話機 ウェブインターフェイスへのアクセスを参照してください。

手順

ステップ 1 **[音声（Voice）]** > **[ユーザー（User）]** を選択します。

ステップ 2 パラメータ **[自動的に回線キーに折りたたむ（Auto Collapse Into Line Key）]** で、**[はい（Yes）]** を選択します。

機能を無効にするには、**[いいえ（No）]** を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml)でこのパラメータを設定することができます。

```
<Auto_Collapse_Into_Line_Key ua="rw">Yes</Auto_Collapse_Into_Line_Key>
```

デフォルト：**いいえ(No)**

[自動的に回線キーに折りたたむ（Auto Collapse Into Line Key）] 機能が有効な場合、通話が応答されると通話情報画面が閉じます。

ステップ 3 [すべての変更の送信（Submit All Changes）]をクリックします。

ヘッドセットインベントリのレポート

電話機を設定して、サーバに接続または接続されていない周辺情報をレポートできます。Cisco IP 電話マルチプラットフォームフォンでサポートされる周辺機器は、キー拡張モジュール（KEM）と Cisco ヘッドセットです。

サポートされている Cisco ヘッドセットは、Cisco ヘッドセット 500 シリーズと Cisco ヘッドセット 700 シリーズです。

始める前に

- 電話管理の Web ページにアクセスします。 電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス を参照してください。

手順

ステップ 1 **[音声（Voice）]** > **[SIP]** を選択します。

ステップ 2 **[周辺機器（Peripheral）]**セクションで、**[周辺機器インベントリの有効化（Peripheral Inventory Enable）]**パラメータを**[はい（Yes）]**に設定します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml)でこのパラメータを設定することができます。

```
<Peripheral_Inventory_Enable ua="na">No</Peripheral_Inventory_Enable>
```

このパラメータを **[はい（Yes）]** に設定すると、周辺機器インベントリのヘッダーが SIP Register メッセージに含まれます。 **[いいえ（No）]** に設定すると、ヘッダーは SIP メッセージに含まれません。 パラメータのデフォルト値は **[いいえ（No）]** です。

1 つの周辺機器が電話機に接続または切断されると、次にスケジュールされた Register が周辺機器データのヘッダーで周辺機器情報を提供します。 後続のすべての Register では、周辺情報が処理されるという問題が発生します。 周辺機器データのヘッダーは、各周辺機器に含まれています。たとえば、ヘッドセットが 2 つある場合、ヘッダーは 2 回表示されます。

ステップ 3 [すべての変更の送信（Submit All Changes）]をクリックします。

設定ファイルを使用してヘッドセットをアップグレードする（Cisco ヘッドセット 320 のみ）

電話機の設定ファイルを使用して、ヘッドセットのファームウェアバージョンを追加できます。

始める前に

電話管理のウェブページにアクセスします。 電話機 ウェブインターフェイスへのアクセスを参照してください。

手順

ステップ 1 **[音声（Voice）]** > **[プロビジョニング（Provisioning）]** を選択します。

ステップ 2 **[Cisco ヘッドセットファームウェアのアップグレード（Cisco Headset Firmware Upgrade）]** の項の **[Cisco ヘッドセット アップグレード ルール（Cisco Headset Upgrade Rule）]** パラメータに設定ファイル名を入力します。

例：**`<upgrade protocol>://<upgrade server ip address>[:<port>]>/<path>/<file name>.xml`**

HTTP、HTTPS、および TFTP がサポートされています。

ステップ 3 [すべての変更の送信（Submit All Changes）]をクリックします。

設定ファイルを使用してヘッドセットをアップグレードする（**Cisco** ヘッドセット **320** のみ）

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。